

Ⅱ 社会資本未来プランの基本事項

1 社会資本未来プラン策定の趣旨

「社会資本未来プラン」は、本県の総合戦略である「ひろしま未来チャレンジビジョン」（平成 22（2010）年 10 月策定，平成 27（2015）年 10 月改定）が目指す県土の将来像を実現するための社会資本マネジメントの基本方針として，平成 23（2011）年 3 月に策定したものです。

2 社会資本未来プランの期間

プランの計画期間は，広島県総合計画「ひろしま未来チャレンジビジョン」が，おおむね 10 年後を展望して策定されたものであることから，10 年間（平成 23（2011）年度～32（2020）年度）としています。

今年度のひろしま未来チャレンジビジョン改定においても，計画期間は平成 23（2011）年度から平成 32（2020）年度の 10 年間で変更なしとされたことから，社会資本未来プランについても変更なしとします。

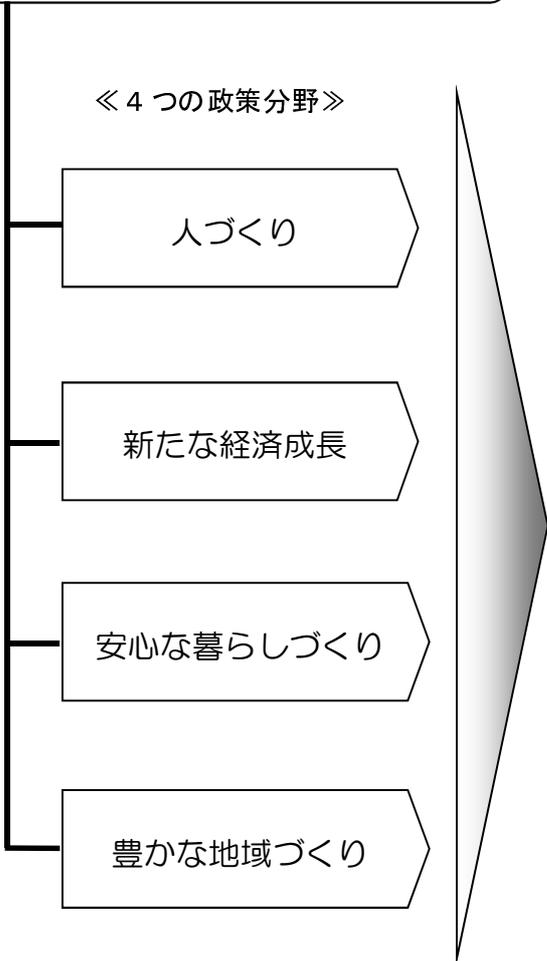
なお，平成 28（2016）年度を始期とする事業別整備計画については，計画期間を平成 28（2016）年度から平成 32（2020）年度の 5 年間で統一し，終期をひろしま未来チャレンジビジョン及び社会資本未来プランと合わせています。

3 社会資本未来プランの基本構成

ひろしま未来チャレンジビジョン

基本理念
 将来にわたって『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現

目指す姿
 仕事でチャレンジ！
 暮らしをエンジョイ！
 活気あふれる広島県
 ～仕事も暮らしも。
 欲張りなライフスタイルの実現～



社会資本

～「ひろしま未来チャレンジ

Ⅲ—1 (8～9p)
 社会潮流・本県の特徴

Ⅲ—2 (10～11p)
 社会資本の現状

Ⅲ—3 (12～15p)
 10年後の社会資本のあるべき姿

- ◆アジアとの取引が活発化し、アジアを中心とする海外成長市場の獲得が進んでいます。
- ◆県境を越えて「ひと」が集まり、中四国地方における広島県の中核拠点性が向上しています。
- ◆企業活動を支える物流基盤の充実により、経済基盤の強化が進んでいます。
- ◆陸・海・空からのアクセス基盤が整備され、裾野の広い観光産業が発展しています。
- ◆観光インフラが整備され「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」を確立しています。
- ◆再生可能エネルギーが利用され、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みづくりが進んでいます。
- ◆災害による被害を最小限にするための県土づくりが進んでいます。
- ◆これまで整備してきた公共土木施設が適切に維持管理されています。
- ◆支援や介護が必要な人が地域で安心して生活できる環境の整備が進んでいます。
- ◆通学路や通行上危険な箇所を中心に、安全で安心な交通環境の整備が進み、交通事故が減少しています。
- ◆機能的で魅力的な都市が形成されています。
- ◆中山間地域において、地域の安全・安心の確保に向けて、安心を支える生活環境づくりが進んでいます。

未来プラン ～戦略的な投資とマネジメントの最適化～

ビジョン」の実現を支えるための社会資本マネジメントの基本方針～

IV (16～17p)

社会資本マネジメント方針

IV—1 (18～29p)

社会資本整備の重点化

◆広島県の底力を最大限発揮するための戦略的投資

- [重点化方針①] 広域的な交流・連携基盤の強化
- [重点化方針②] 集客・交流機能の強化とブランド力向上
- [重点化方針③] 環境保全と循環型社会の構築
- [重点化方針④] 防災・減災対策の充実・強化
- [重点化方針⑤] 自立した生活ができる環境の整備
- [重点化方針⑥] 総合的な交通安全対策の推進
- [重点化方針⑦] 持続可能なまちづくり

IV—2 (30～33p)

社会資本ストックの有効活用

◆施設の潜在機能を最大限発揮するための効果的投資

- [有効活用①] 既存ストックの機能改善等
 - ・機能改善
 - ・運用改善
 - ・多目的利用
- [有効活用②] ハードと一体となったソフト対策の一層の推進
 - ・ハードと一体となったソフト対策
 - ・潜在能力を最大限引き出すためのソフト対策
 - ・コンパクトで利便性の高いまちづくりの推進

IV—3 (34～35p)

社会資本の適正な維持管理

◆施設機能を適切に維持するための投資の最適化

- 戦略的な維持管理の推進
 - ・次世代への財政負担の軽減を図るため、インフラ老朽化対策の取組を推進
 - ・道路や河川等の計画的な管理
- 新たな公との連携の推進
 - ・アダプト活動等の促進

IV—4 (36～47p)

3つのマネジメント方針を効果的に進めるための施策・イノベーション

コスト構造改善

- コスト構造改善の推進

多様な主体との連携

- 新たな公との連携の推進【再掲】
- 官民連携の推進
- 建設産業との連携
- 市町との連携の推進
- 社会資本マネジメントの総合調整

施策の点検

- 公共事業評価の推進
- PDCAの推進
- 見える化の推進

事業ごとの整備計画の策定

- 整備計画の着実な実施

公共事業における担い手の確保

- 公共事業における担い手の確保

優先順位の設定

- 事業を超えた施策分野での優先度の設定

次期社会資本未来プラン策定に向けて今後5年間で検討していく事項

「強み」と「潜在能力」を最大限に活かし、最少の経費で最大の効果を発揮